

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 60041756
 PUBLICATION DATE : 05-03-85

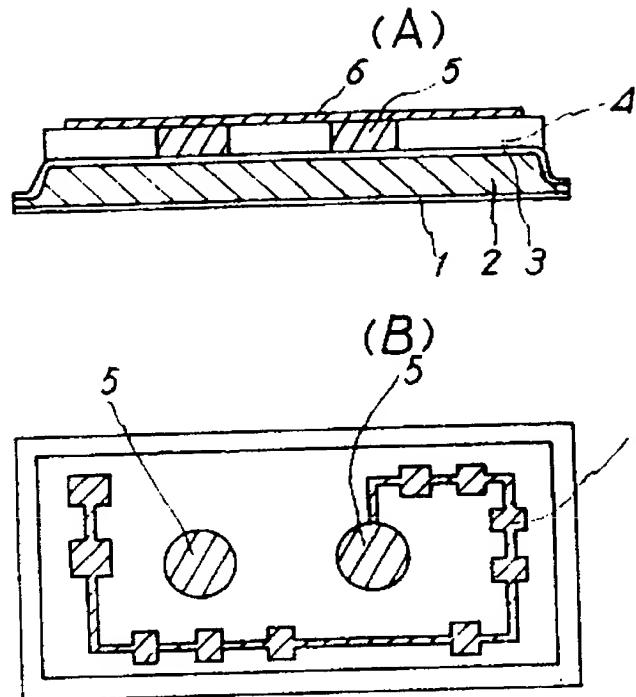
APPLICATION DATE : 18-08-83
 APPLICATION NUMBER : 58150821

APPLICANT : SEIKO INSTR & ELECTRONICS LTD;

INVENTOR : FUKUCHI TAKAKAZU;

INT.CL. : H01M 2/30 H05K 1/02

TITLE : POWER SOURCE COMPOSITE
 CIRCUIT BOARD



ABSTRACT : PURPOSE: To provide a new device suitable for thin electronic appliances by directly stacking a circuit board on a flat battery.

CONSTITUTION: A circuit board 4 is stacked on a flat battery having a positive current collector 1 and a negative current collector 3. A conductive layer 6 is formed on the surface, which is not in contact with the battery, of the circuit board 4. The conductive layer 6 and the negative current collector 3 are electrically connected by an electrical connecting part 5. The electrical connecting part 5 is formed by circuit built-in technology. The flat surface of the connecting part 5 can be formed in a shape of square or triangle other than circle. The flat pattern of the conductive layer 6 can be optionally formed.

COPYRIGHT: (C)1985,JPO&Japio

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑪ 公開特許公報 (A) 昭60-41756

⑫ Int.Cl. 1

H 01 M 2/30
H 05 K 1/02

識別記号

序内整理番号

⑬ 公開 昭和60年(1985)3月5日

6903-5H
6679-5F

審査請求 未請求 発明の数 2 (全3頁)

⑭ 発明の名称 電源複合回路基板

⑮ 特願 昭58-150821

⑯ 出願 昭58(1983)8月18日

⑰ 発明者 竹田 和俊 東京都江東区亀戸6丁目31番1号 株式会社第二精工舎内
⑱ 発明者 福地 高和 東京都江東区亀戸6丁目31番1号 株式会社第二精工舎内
⑲ 出願人 セイコー電子工業株式 東京都江東区亀戸6丁目31番1号
会社
⑳ 代理人 弁理士 最上 務

明細書

1. 発明の名称 電源複合回路基板

電源装置および電池構成装置であることを特徴とする特許請求の範囲第1項、第2項もしくは第5項記載の電源複合回路基板。

2. 特許請求の範囲

- (1) 平板型電池の正極もしくは負極のいずれか一方の集電体に接して回路基板を配置し、前記回路基板の導体層と他の電源装置部品との間を電気的に接続したことを特徴とする電源複合回路基板。
(2) 平板型電池の正極及び負極の集電体に接して回路基板を配置し、前記回路基板の導体層と他の電源装置部品との間を電気的に接続したことを特徴とする電源複合回路基板。
(3) 平板型電池の正極及び負極がシート状もしくは薄板に形成されていて、電池薄みが薄いことを特徴とする特許請求の範囲第1項もしくは第2項記載の電源複合回路基板。

- (4) 平板型電池がルクランシエ電池、アルカリマンガン電池、酸化銀電池、ニッケル-水銀電池、

3. 発明の詳細な説明

本発明は、本発明は、平板型電池単体を一体化した新規なるデバイス、すなわち、電源複合回路基板に関するものである。従来、平板型電池単体として、インスタントカラーフィルムバック用電池として使用されている。また、グリーティングカードの電源として使用することが知られている。

いずれにせよ、平板型電池を単体として使用すること以外は極めてされていない。

一方、回路基板も電池とは独立に設計、製作されており、各コンポーネント同志が別々に設計されて一體化されていない。

本発明は、平板型電池の上に回路基板を直接接続することにより、電子機器の薄型化を達成した新規なるデバイスを提供することを目的とするもので

特開昭60-41756(2)

以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。

実施例1

第1図(A)および(B)は平板型電池の正極もしくは負極のいずれか一方の集電体の上に回路基板を重層してなる本発明電源複合回路基板の断面図と平面図である。

図中、1は正極端子を兼ねる正極集電体であり、3は負極端子を兼ねる負極集電体である。2は正極集電体1および負極集電体3を有する平板型電池である。4は回路基板であり、この回路基板4の背面と接していない面に導体層6が形成されている。また、この導体層6と平板型電池2の負極集電体3との間は電気的接続部5により電気的にリードがとられている。この電気的接続部5は適当な回路実装技術で形成できる。たとえば、微細ピームによりリードが形成される。

また、電気的接続部5の平面形状は円形以外にも角形、三角形等任意に設定できる。導体層6の平面パターンも任意のパターンに設定できる。

らなるセパレータで、厚みが2.5~15.0mmである。このセパレータBの周辺部8aの両面にはホントメルト樹脂が塗布されている。2は自換活物質であるリチウムシートで、厚みが0.05mmである。3は負極端子を兼ねる負極集電体で、厚みが1.0~5.0mmのニッケル、ステンレス、ニッケルメンキを施した鋼、もしくはアルミニウム等のシートである。7はMnO₂を主体とする正極合剤で、正極集電体1に接して配置される。この正極合剤の厚みは0.2mmである。8はポリプロピレンの不織布もしくはマイクロポーラスフィルムか

実施例2

第2図は平板型電池の正極もしくは負極集電体の上に回路基板を積層してなる本発明電源複合回路基板の断面図である。

平板型電池2の正極集電体1と負極集電体3に接して回路基板4が積層されている。6はこの回路基板4の正面に接していない面に掛けられた導体層であり、この導体層6は他の導電体1および3と電気的接続部5によって電気的に接続されている。

実施例3

第3図は本発明に適用される平板型電池の一実施例を示す断面図である。

図中、1は正極端子を兼ねる正極集電体で、厚みが1.0~5.0mmのニッケル、ステンレス、ニッケルメンキを施した鋼、もしくはアルミニウム等のシートである。2はMnO₂を主体とする正極合剤で、正極集電体1に接して配置される。この正極合剤の厚みは0.2mmである。8はポリプロピレンの不織布もしくはマイクロポーラスフィルムか

ドミウム電池、全銀亜鉛電池、ニッケル亜鉛電池、酸化銀電池、アルカリマンガン電池、ルクランシエ電池、液体電解質電池である。

また、他のサイズも94×85mm以外のサイズが任意に設定できるし、厚みも任意に設定できる。さらに、導体形状も四角以外に円形、三角形、ドーナツ状等が容易である。

本実施例では電池のシール方法にヒートシールを採用しているが、熱封波シール、超音波シールならびに他の接着剤によるシールが使用できる。

次に本発明の効果を説明する。

上述したように、平板型電池の上に回路基板を積層することにより、以下の効果が発揮される。
(1) 電子機器を潤滑化できる。(2) 各コンポーネントを別々に設計することなく、統一した設計が可能となる。(3) 回路配線が堆積となり、回路インピーダンスが低減できる。この結果として、回路からの発振を防止することができる。
(4) 電子回路へ直接電源を供給できる。専ら、

電池の出力方法は1と3の周辺部と8aの二者を加熱しながらヒートシールする。

このようにして作成した平板型電池はサイズが5.4×8.5mmで、厚みが0.4mmである。また、この電池の容量は7.2mAhで、開路电压は3.4Vである。

なお、本実施例では有機電解液電池の一つであるリチウム電池について説明したが、他の電池に

圧縮下分の損失が少ないので大きなメリットとなる。
 (5) バイアス抵抗を取り外すことができる。
 バイアス抵抗が不要になるので、電子回路を構成する素子数が低減でき、電子機器のコストダウンを図ることができる。

以上詳述したように、本発明は平板型電池の上に、直接回路基板を横臍することにより、各種電子機器の回路設計に適した新規デバイスを提供することができ、マイコン、カメラ、ラジオ、車両、テレビ、クロック、電子顕微鏡、店頭広告のデバイスとして優れであり、その工業的価値大なるものである。

4. 図面の簡単な説明

第1図(A)及び(B)は平板型電池の正極もしくは負極のいずれか一方の集電体の上に回路基板を横臍した本発明電池と回路基板の断面図と平面図、第2図は平板型電池の正極および負極集電体の上に回路基板を横臍してなる本発明電池と回路基板の断面図、第3図は本発明に適用され

る平板型電池の一実施例を示す断面図である。

- | | |
|------------------|-------------|
| 1 …… 正極集電体、 | 2 …… 平板型電池、 |
| 3 …… 負極集電体、 | 4 …… 回路基板、 |
| 5 …… 電気的絶縁部、 | 6 …… 斜面層、 |
| 7 …… 正極合剤、 | 8 …… セパレータ、 |
| 8a …… セパレータの周辺部、 | |
| 9 …… 負極活性質、 | |

以上

出願人 株式会社 第二精工會
 代理人 手理士 最上 勝

